

■ 第一節 ■ 人としての生き方

世の中は何を軸に動いているのか

この世には大きな仕組みが

時々刻々と移り変わるこの世の中は、何を軸に動いているのでしょうか。政治や経済と
言う人もいますでしょう。また、教育や文化、科学、技術などを挙げる人もいるかもしれま
せん。しかし、時代の流れやもろもろの現象は、もっと大きな仕組みの中で起きているの
です。この世の仕組みについて、神はこのようにお教えくださいます。

神 示

——この世は「運命実体」を軸に回っている——

政治 経済 教育も 人の努力 経験も

この世の「力」と「存在」全てが神の手の中

「運命実体」の中にある

運命は世に貢献できる力

神は、「この世は、『運命実体』を軸に回っている」と言われます。この運命実体とは、
どのようなものなのでしょうか。

運命といっても、人によって感じ方、捉え方はさまざまで、「運が良い」「運が悪い」
「怖い」「逃れられないもの」「自分で切り開くべき」などと言う人もいますでしょう。中に
は、「運命など存在しない」と思う人もいる半面、この世には目に見えない力が働いてい
ると感じる人は多いのではないのでしょうか。運命は、目に見えなくても存在します。しか
し、決して悪いものでもなければ、怖いものでもありません。むしろ、良いものです。な
ぜなら、この世に必要な力だからです。全ての存在に、世に貢献できる力があるのです。

実体はそのものの性質

一方、実体は、そのものが持っている本来の性質です。例えば、ダイヤモンドは、何よ
りも硬く、素晴らしい輝きを放つても、衝撃には弱いものです。桜は、春になると美しく
咲くものの、あつという間に散ってしまいます。そのように、全てのものに、良くも、悪
くも、もともと持っている性質があります。人間であるなら、容姿や性格など、その人が
先天的に持ち合わせているものです。これが、実体です。運命と実体が重なって、運命実
体となります。あらゆるものに運命実体があり、世の中はそれぞれの力が影響し合っ
てくられているのです。